

日程第2 . 一 般 質 問

議長（倉又 稔君）

日程第2、一般質問を行います。

発言通告者は10人ですが、議事の都合により本日5人、12日5人を予定しております。

一般質問の質問時間は、答弁を除き1人30分であります。

所定の時間内に終わるよう質問・答弁とも簡潔に、要領よくお願いいたします。

また、質問は通告の範囲内にとどめるよう、ご協力をお願いいたします。

通告順に発言を許します。

中村 実議員。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

中村議員。〔9番 中村 実君登壇〕

9番（中村 実君）

おはようございます。

事前に通告いたしました発言書に基づき、1回目の質問を行います。

1、米田市政継続について伺う。

米田市政も3期12年が終わろうとしており、北陸新幹線の開業や世界ジオパークの認定、膠着していた地域高規格道路松本糸魚川連絡道路に明るい兆しが見えるなど、評価すべき点も多くある一方、学校でのいじめ問題や権現荘など、今後しっかりと対応及び説明をしていかなければならないことや、自然災害に向けた防災や減災など多くの課題も山積しており、米田市長の任期内での対応は非常に難しいと思われま

私は、米田市長がこれまでに積み上げてこられた実績をもとに、直面する諸課題に責任を持って邁進していく必要があると思います。引き続き、4期目の市政運営に取り組んでいくご意思があるのか、市長の前向きなご答弁を伺います。

以上で、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

市長（米田 徹君）

おはようございます。

中村議員のご質問にお答えいたします。

平成17年3月の1市2町合併による新市誕生以来、今日まで3期11年7カ月にわたって、市長の重任を担わせていただきました。この間、公民館体制や公共料金の統一など、合併未調整事項の解消を進めながら、総合計画に掲げた「翠の交流都市 さわやか すこやか 輝きのまち」の実現に向けて誠心誠意、産業振興や住民福祉の向上など、さまざまな事業に取り組んでまいりました。

特に、地域資源や特性を活用することにより、地域の振興につなげるジオパークの理念は、旧糸魚川市のフォッサマグナと地域開発構想に共通するものがあり、日本国内で最初のジオパーク活動

に、市民の皆様と取り組んでまいりました。その結果、平成21年8月には日本で初めてとなる世界ジオパークの認定を受けることができました。このジオパーク活動によって、合併後の能生・糸魚川・青海、3地域のさまざまな事項において、一体感の醸成が図られたものと考えております。

その他、任期中を振り返りますと、地域医療では平成19年に当市の基幹病院であった姫川病院が突然閉院し、市民生活に大きな影響を与えることとなりましたが、関係機関との連携により、糸魚川総合病院への機能統合や医師・看護師の確保、医療設備の充実に取り組み、地域医療体制を堅持することができました。

また、中山間地域においても、住みなれた地域で安心して過ごせることができるよう、能生国保診療所の整備にも取り組んでまいりました。

地域づくりでは、自立と協働のまちづくりの推進に向け、各地域からの相談窓口を1本化した職員の地域担当制の導入や、地域の皆さんと一緒に、今後の地域づくりや自治活動等の具体的な取り組みを定めた地域づくりプランの策定に取り組んでまいりました。

教育面では、子供の健やかな成長を支援するため、0歳から18歳までの子ども一貫教育を推進し、健やかな体、豊かな心、確かな学力の育成に励んでまいりました。特に、海洋高校においては、産官学連携による地域水産資源を有効活用した特産品の開発が、全国から注目を集めております。

公共インフラの整備では、物流拡大による地域の産業振興と資源循環型社会を形成していくため、姫川港の港湾施設の整備を促進するとともに、産業振興に加え市民生活の利便性の向上を図るため、新幹線開業に合わせた国道8号東バイパス、大和川・押上間の開通、中央大通線の国道148号の接続など、交通ネットワークの整備に取り組んでまいりました。

また、大災害から市民の生命・財産の確保対策といたしまして、学校・公民館等の公共施設の耐震化に取り組み、市内各地域の皆様とともに、あらゆる災害を想定した総合防災訓練を開催したほか、ジオパークによる防災教育活動を推進し、防災・減災対策に努めてまいりました。

北陸新幹線の開業に向けては、世界ジオパークの認定を最大限に活用し、糸魚川市の知名度の向上を図り、当地域ならではの新幹線駅舎、並びに駅周辺施設の整備、フォッサマグナミュージアムやマリンドリーム能生のリニューアルなど、交流人口拡大のための受け入れ態勢の整備に傾注してまいりました。平成27年3月には、40年以上の長きにわたって取り組んできました念願の北陸新幹線が開業し、糸魚川市の新たな一步を踏み出すことができました。

新幹線開業後においては、世界ジオパークや新幹線開業を最大限に活用し、さらなる交流人口の拡大を図り、地域の振興につなげるため、北アルプス日本海広域観光連携会議など、近隣市町村との広域連携、教育旅行の受け入れ推進、首都圏の大学や飲料店との連携などの事業に精力的に取り組み、当市の知名度は向上し観光入込客も増加したことから、一定の成果を得たと考えております。

こうした取り組みに加え、本年9月には当市の石、ひすいが国石に選定され、さらなる知名度の向上につながるものと期待をいたしております。

これまでの議会並びに市民の皆様からのご理解とご協力に対して、深く感謝を申し上げます。次第であります。

しかしながら、持続可能なまちづくりを進めるために欠かせない、少子高齢化や人口減少対策の推進、市民が安心して暮らせるための地域医療・福祉の充実、あすを担う子供たちの健やかな育成を目指す0歳から18歳までの切れ目のない一貫教育、市民の生活環境向上に向けた次期ごみ処理

施設の整備、新幹線開業後の交流人口拡大や地域経済への効果波及、さらには地域高規格道路松本系魚川連絡道路の早期工事の着工など、課題も山積いたしております。新たに策定いたしました第2次総合計画を着実に推進する必要があります。

残された任期につきましては、これまでの課題、また、皆様から厳しくご指導いただいている点につきましては真摯に受けとめ、反省すべきは反省をし、見直すべきは見直し、初心に戻って対応してまいりたいと考えております。今後も、行財政の状況につきましては、一層厳しさが増し、市政運営はさらに厳しくなることが予想されます。これらの課題は決して先送りすることは許されず、私自身、課題の解決については深く責任を感じております。今後の身の振り方につきましては、前向きに検討してまいりたいと考えております。

以上、ご質問にお答えいたしました。よろしくご質問申し上げます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

中村議員。

9番（中村 実君）

ありがとうございました。

前向きに考えていくということでありましたが、今ほどの答弁の中で何点か、伺いたいと思っております。

まず、松本系魚川連絡道路でございますが、本年8月27日に行われた建設促進フォーラムに、泉田知事が来られたときに、松系道路の工事に着手すると、大変、心強いお言葉をいただきましたが、途中で知事選を辞退され、その後、森知事候補も松系の工事を必ず行うという公約を話しておられました。

しかしながら、残念ながら当選がかなわず、米山知事が誕生いたしました。米山知事の公約の中には松系道路の工事は入ってなかったというふうに、私は思っております。

ところが、先月の11月21日に市長と知事の話し合いが行われ、その席で松系道路に対して要望を行った結果、前向きに捉えているという言葉があったそうではありますが、それは前段の二人とは違いまして、随分、後退した答弁だと私は思っております。

実際に知事と会談を行われまして、どのような感触があったのか、松系道路に対してどのような感触があったのか、伺いたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

市長（米田 徹君）

お答えいたします。

面会当日、米山知事には限られた時間ではありましたが、糸魚川市が直面する多くの課題の中で、最重要課題の一つとして松系、松本系魚川連絡道路の整備促進を強く訴えてまいりました。米山知事からは、ルート帯の決定も含め、進んでいるという旨の言葉をいただきました。これにつきまして、私といたしましては、泉田前知事から課題をしっかりと引き継ぎ、また受けとめておるということを、この感覚を受けとめさせていただきました。

しかしながら、引き続き事業促進に向けて、建設期成同盟会と一体となって県と連携をしてみたいと思っています。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

中村議員。

9番（中村 実君）

この松糸道路は、昭和51年の塩の道経済懇談会で松糸の話が出てから、既にもう40年が経過し、前回の知事選のときにやっと明かりが見えてきたかなというふうに、大変、喜んでおりましたが残念でありました。

今ほどの答弁の中で、前知事から引き継がれていっているようなこととお伺いしましたが、今後、松糸道路の早期着手に向けて、40年間、糸魚川市が苦勞してきたこの課題をしっかりと説明しながら、早期着手に進めていっていただきたいと思いますが、その辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

市長（米田 徹君）

お答えいたします。

松本糸魚川連絡道路につきましては、7月19日、県に出向き、整備促進について要望するとともに8月のフォーラムに向かいまして、泉田前知事から出席を強く要請をしたところであります。

前知事からはそれを踏まえまして、フォーラム当日、糸魚川地域が発展していくためにも松本糸魚川連絡道路を進めるために、新潟県としても全力を挙げてまいりたいという発言をいただきました。

その後、先ほど説明させていただきましたが、11月21日に米山知事との面会の際にも、松本糸魚川連絡道路の重要性は認識しているということと、一緒にやってみようとの言葉もいただきました。

そのようなことで、松本糸魚川連絡道路の事業化に向けた道筋は、一步、進んだのではないかなと思っているわけではありますが、今後は、早期工事着工に向けて、より一層取り組んでまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

中村議員。

9番（中村 実君）

ぜひ、進めていっていただきたいと思いますが、今の知事はいろいろと、国とのパイプも弱いようでありますので、しっかりと進めていただきたいと思います。

次に、ジオパークについてであります。平成27年にユネスコの正式プログラムとなった世界ジオパークも、自民・公明両党の有志が石破地方創生大臣を先頭に、ジオパークによる地域活性化推進議連を立ち上げております。観光に活用することで、安倍政権が掲げる地方創生にも役立つと

いった取り組みだと伺っておりますが、市長はこの会議に出席されておりますが、この会議の内容を少し伺いたいと思います。

〔「議長、議事進行」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

古畑議員。

20番（古畑浩一君）

休憩をお願いします。

議長（倉又 稔君）

暫時休憩します。

午前10時16分 休憩

午前10時33分 開議

議長（倉又 稔君）

休憩を解き会議を再開いたします。

古畑議員から議事進行の申し出がありましたので、古畑議員。

20番（古畑浩一君）

それでは、これより改めて議事進行について申し上げます。

ただいま、中村議員より米田市長継続について伺うということで質問があり、市長から答弁がありました。その後、中村議員は高規格道路の進捗状況、そして次には、世界ジオパークについての細かな質問がありました。

質問通告書に書かれている内容は、あくまでも4期選に、市長の4期出馬に向かって、市長の前向きな答弁を伺いますというところで終結しております。これに対して、米田市長は現在までの功績と、また、これからの行政課題についての認識を述べた後、前向きに検討するというので答弁が終わっております。

以下のことを考えますと、中村 実議員の米田市政継続について伺うことについては、その時点で完結したものと思われま。さらに、その中において、世界ジオパークや高規格道路について質問を継続するとなれば、この通告書の中に、それを記載しておくべきではなかったか。前段のほうには書いてありますが、これは質問形式にはなっていないことから、これを関連質問と認めることには、いささか疑問がありますので、議長の見解をお伺いしたいものであります。

議長（倉又 稔君）

今ほど、古畑議員からの議事進行によりますと、私の答弁を求めているわけですが、今ほど古畑議員の言われたとおり、具体的事例まで掘り下げて質問をするということは、本来の質問の趣旨から外れている場合が出てくると、可能性が大きいということで、今回の質問内容は、市政運営に取り組む意思の確認であり、その意思の確認については、具体的事例までじゃなくて大綱にとどめるべきだということでありま。

よって、具体的な質問については、やはり項目ごとに通告をすべきだというのが、私の見解であ

ります。

以上です。

20番（古畑浩一君）

終わります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

中村議員。

9番（中村 実君）

私の通告書に、できれば箇条書きに質問事項を書けば、今回のようなことが起きなかったと思いますが、箇条書きにしていなかったことでこのような問題が起きたというふうに思っております。私も、その辺は理解をいたしました。

それでは、質問のほうを続けてさせていただきます。

先ほど、市長のほうから前向きに検討していくというようなお話がありました。その中で、今後、第2次総合計画も前面に出して進めていくということではありますが、市長のほうから前向きに検討するという答弁が聞かれましたが、はっきりと4期目の市政運営に取り組んでいく、すなわち次回の選挙に出馬するというようなことが、私は聞かれませんでした。その辺をもう一度、はっきりお伺いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

市長（米田 徹君）

お答えいたします。

私といたしましては、市民の皆様から再び支持をいただきましたら、支持といいましょうか、これは4月16日だと思っておるわけではありますが、これまでの経験を生かして、引き続き市長として当市が抱える課題の解決に向けて、新たに策定をいたしました第2次基本計画につきまして、着実に推進をし、市政の発展とそして持続可能なまちづくりに向けて、誠心誠意努めてまいり所存でございます。今ほどご質問がありました中においても、課題・問題、かなり多く山積いたしてあるわけでございます。自分の責任において、やはりしっかり取り組んでまいりたいということで、4期選については出馬させていただくわけでございますので、よろしく願い申し上げます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

中村議員。

9番（中村 実君）

はっきりとお伺いしました。ありがとうございました。

今の段階では、多くの課題が残されております。教育問題にしても権現荘にしても、これから本当に、先ほども私、1回目の質問でも申し上げましたように、解決していかなければいけないことがあります。この多分、任期内ではそれはできないというふうに思っておりますので、その辺をしっかりと心におさめて、続けていただきたいと思いますし、市長の職務は、大変、激務だというふう

に私は思っております。ぜひ、健康に留意され、次期系魚川市のかじ取りを、引き続き頑張っていたきたいことをお願い申し上げまして、私の質問を終わります。ありがとうございました。

議長（倉又 稔君）

以上で、中村議員の質問が終わりました。

関連質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

関連質問なしと認めます。

次に、笠原幸江議員。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

笠原議員。〔2番 笠原幸江君登壇〕

2番（笠原幸江君）

創生クラブ、笠原幸江です。おはようございます。

事前に提出いたしました発言通告書に基づき、1回目の質問をさせていただきます。

1、なぜとめられない、市内中学校で続発しているいじめ重大事態について。

いじめは、人格を否定し、人権を無視する行為であり、学校内・学校外であっても、いかなる理由があろうと絶対に許される行為ではありません。いじめられた生徒もいじめた生徒も、事態が大きくなればなるほど、心の傷が大きくなり修復は困難な状態に陥り、その後の人生に影響すると訴え続けているにもかかわらず、繰り返されている当市内の中学校のいじめ重大事案。未然に防げなかった大人たちの責任ではないかと、怒りを感じざるを得ません。

子どもたちを守るために、いじめ防止対策推進法に基づき、当市は、いじめ防止基本法、いじめ防止条例、いじめ防止などの行動計画、また、教育要覧でも全ての学校の重点推進項目に、いじめを見逃さない、許さない環境の構築として取り組むことになっています。

さらにスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、相談員など配置されていますが、有効かつ的確なアドバイスを受け実施されているどころか、負の連鎖が生じ、いじめ重大事態となっています。

そのことを踏まえて以下の項目について伺います。

(1) 地域とともに信頼される学校づくりを進めていきたいと、教育長は3月定例会や報道などで答弁されています。どのように行動し、生かされていますか。

教育委員会では、初期段階でいじめを発見した場合の取り組みが、その後長引くかどうかの判断が非常に大きな分岐点になるので、大変、責任が重いと理解しているはずが、なぜ対応できなかったか。

被害生徒・加害生徒の心の指導は適正に対応されているか。

保護者・地域・学校・職員・関係機関の連携に取り組むとなっているが、どのような手当てをしたのか。特に当市に異動された職員に対し、いじめ事案の実態について説明が理解されていたか。

中学校1年生のいじめ事案で「いじめ問題に関する調査結果報告書」が公開されていま